

作成日 R7.5.12

支援プログラム(児童発達支援)

綾部市こども発達支援施設

あいむ

営業時間

8:30-17:15

※送迎の実施はありません

理念

あやべっ子すこやかプランにある「すべてのこどもが心豊かに成長でき、誰もが安心してこどもを生み育てられ、地域社会全体が応援するまちづくりの推進」を基本理念とし、発達に支援の必要なこどもに対しては、一人ひとりの発達に応じた適切な保育・療育・教育の推進とともに、養育する保護者が安心して子育てができる支援体制の充実を図ります。

支援方針

少人数でのグループを中心に、必要に応じて個別的な療育を位置づけ、個々の課題に応じた支援を行います。また、「楽しい、おもしろい」が動機づけとなり、自信を積み上げ、自ら挑戦する意欲を高める遊びを工夫し、集団生活に適応する力を育てます。

主な行事等

○始業式(4月) ○先輩保護者との交流会(夏頃)
○ミュージック・ケアイベント(秋頃) ○クリスマス会(12月) ○修了式(3月)

支援内容

家族支援

- ・ 同室(親子療育)の日や観察室で見えていただく日を設け、保護者の方とこどもの姿を共有し、こどもへの具体的な関わり方の支援を行います。
- ・ 家庭と協力してこどもの良さを伸ばし、共に成長を喜び合います。
- ・ 2か月に1回、クラス単位での保護者交流会を実施しています。



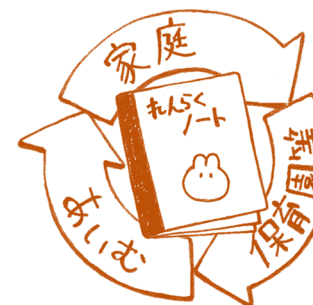
移行支援

- ・ 保育園等に入園される際には、入園予定先との連携を行います。
- ・ 年長児の保護者を対象に「就学にかかる説明会」を実施しています。
- ・ 就学予定校の先生に来所していただき、連携を図っています。
- ・ 相談支援ファイルや移行支援書の作成をサポートします。



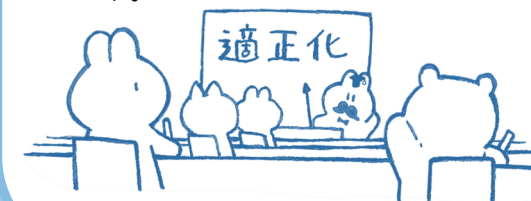
地域支援・地域連携

- ・ 通所児童が在籍している保育園等を訪問したり、園の先生が来所されたりする中で、在籍園との連携を図ります。
- ・ 連絡ノートを作成し、三者間(家庭・園・事業所)で情報共有します。
- ・ 医療機関でのリハビリに同行し、支援方法を共有します。



職員の質の向上

- ・ 職員研修の定期的な実施や外部研修への積極的な参加を通して、専門性の向上を図り、こども達への支援に活かします。
- ・ 児童虐待防止研修、身体拘束等の適正化のための研修を実施します。
- ・ 防火・防災訓練、感染症の予防及びまん延防止のための研修、業務継続計画(BCP)研修等を実施します。



本人支援についてはこちら



あいむ

児童発達支援事業では、未就学のお子様を対象に小集団での発達支援を行います。
発達支援には5つの領域があり、この中から個々に合わせた支援を行っています。
こども達それぞれの好きなことや興味のあることを大切に、職員やお友達と一緒に、『楽しい、嬉しい』と感じながら、遊びを通して学べるような工夫をしています。

健康・生活

生活に必要なスキルを身につける

健康状態を確認し、基本的な生活スキルの習得、生活のリズムや生活習慣の形成などの支援をします。また、こども達が安心して過ごせるように、部屋の環境を調整したり、教材を工夫したりします。

- 手を洗う ○カバンを持つ、かける、背負う
- 靴や靴下の脱ぎ履き ○服を着たり脱いだりする
- お片付けをする ○スケジュールボードで活動の確認や見通しをもつ など



運動・感覚

運動機能の向上や、豊かな感覚を育む

遊びを通して身体感覚を刺激し、運動機能、バランス感覚、力の調整などの発達を促したり、さまざまな素材に触れることで感覚の発達を促したりします。身体感覚を育てることを通して、力加減や動きをコントロールするだけでなく、気持ちのコントロールにもつなげていきます。

- ミュージック・ケア（音楽療法）
- 粗大運動・・・トランポリン・ブランコ・すべり台、サーキット遊び など
- 微細運動・・・ハサミ・洗濯ばさみ・紐通し・お箸・鉛筆 など
- 感触・感覚遊び・・・小麦粉・寒天・春雨・お花紙・新聞紙 など

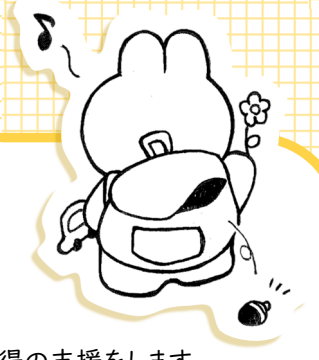


認知・行動

物事を理解し、その知識を行動に活かせるようになる

小集団での活動を通して、物事に対して適切な理解と行動の習得の支援をします。

- 物の名称や色、数の概念を習得する ○順序立てて物事を処理する
- 昨日や今日などの時間の理解 ○指示を理解して行動する
- ルールを理解する ○感情や行動をコントロールする など



言語・コミュニケーション

人とつながる手段を身につける

“人に注目する・真似をする・話を聴く”など人とつながることや、“要求する・拒否する・友達と仲良く遊ぶ”など自分も周囲の人も大切にするコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカードなど、一人一人に合った方法を考え支援します。

- 指さし ○選択する ○「～してほしい。」「～は嫌だ。」を伝える ○挨拶する
- 質問に答える ○場面に合った言葉を使う ○困ったことを伝える など



人間関係・社会性

人と心地よい関係を育む土台をつくる

職員が1対1で関わることで、こども達が安心して過ごせるようにし、人と一緒に過ごすことや遊ぶことの心地よさを感じられるようにします。また、集団活動に参加したり、友達とかかわって遊んだりするときの手順やルールを理解したり、人と一緒に楽しく過ごせたりするように支援します。

- 相手に期待する ○順番・交代 ○役割分担 ○ルールを守る
- 適切な方法で自己主張する ○指示に応じて行動する ○協力する
- 相手の気持ちを理解する ○対処方法を考える など

